

積雪期の状態になく登山を認めるルートについて

R5. 9. 7 学校安全課

1 現状

・ 冬季の登山

冬季の登山については、「標高が低く、積雪期の状態にない山」における登山のみ認めることとしており、冬季に登山の実施を認める山行ルートとして 14 ルートを示している。

2 課題

・ 「積雪期の状態」という定義が明確でないため、登山計画審査会での協議により認められるとしても、審査会を構成する委員の個人の考えに委ねられて、判断が変わってしまう懸念がある。

・ 予め認められた 14 ルートが妥当かどうかもわかりにくいという指摘がされている。

3 雪が相当期間堆積するかについて

・ 冬季に登山を認める 14 ルートについて、雪が相当期間堆積する山であるのか気温条件から検討するため、山頂の気温を推計した。

・ 推計の結果、12 月から 3 月の期間において、最高気温が 0℃を下回ることなく、かつ融雪が確認できるとされている日平均気温「-3℃」を下回らないことが確認できた。

・ そのため、12 月から 3 月の期間において降雪があった場合でも、雪が相当期間堆積する可能性は低いと考えられる。

4 今後の対応の方向性について

・ 冬季に登山を計画するルートは、気温データ（推計値）も踏まえて選択することとし、登山計画審査会が、山の実際の状況に照らして可否判断する。（参考 3）

・ 「冬季に登山を認める 14 ルート」については、冬季に山行が可能な山の代表例として取扱うこととし（14 ルートを定めている平成 30(2018)年 12 月 17 日付け学安第 774 号教育長通知については廃止する。）、実際の登山の実施の可否は、登山計画審査会等の確認を経て判断する。

【参考 1】

冬季に認められている山行ルートと山頂の気温（推計値・12月～3月）											
No.	山名	山の標高 (m)	エリア	最寄り 観測所	観測所 標高(m)	最高気温 (山頂推計値)		最低気温 (山頂推計値)		平均気温 (山頂推計値)	
						最大値	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値
1	古賀志山	583	宇都宮	宇都宮	119	12.916	5.516	1.516	-5.084	6.916	-0.084
2	篠井富屋連峰	561	宇都宮	宇都宮	119						
3	仙人ヶ岳	662	足利	佐野	68	12.536	5.436	0.136	-6.264	6.336	-0.564
4	両崖山	251	足利	佐野	68						
5	両崖山・天狗山・大岩山	417	足利	佐野	68						
6	唐沢山	241	佐野	佐野	68						
7	妙義山・大小山	314	足利	佐野	68						
8	三義山	230	佐野	佐野	68						
9	大平山・晃石山	419	栃木	佐野	68						
10	高鳥屋山	320	鹿沼	鹿沼	165	13.97	6.77	1.27	-4.73	7.47	0.47
11	雨巻山	533	益子	真岡	91	12.848	5.548	-0.352	-7.552	6.248	-1.152
12	御亭山	513	大田原	大田原	188	12.55	5.15	0.25	-5.65	6.25	-0.35
13	難台山	533	茨城県石岡	笠間	72	12.934	6.134	-0.066	-6.366	6.334	-0.466
14	筑波山	877	茨城県下妻	下妻	20	10.658	3.458	-1.042	-7.642	4.758	-2.242

※1 3カ年平年値ベース

【参考 2】

- ・ 融雪予測（融雪量の計算）において、日平均気温を融雪指標として計算に使用する方法がある。（ディグリー・デー法（積算温度法））
- ・ 日平均気温が-3℃以上で融雪が観測されていることから、融雪量の計算に反映する方法がある。

【参考 3】

「積雪期の状態になく登山の実施を認めるルート」確認ルールの設定

